

かわにし市議会だより

ホームページアドレス <http://www.city.kawanishi.hyogo.jp/gikai/>

平成19年(2007年)11月4日

No.163

発行：川西市議会
編集：広報委員会
TEL 072-740-1255
FAX 072-740-1318

市立保育所条例の一部改正など審議 市議会「政務調査費」交付条例を改正



平成19年第4回定例市議会は、去る8月31日に招集され、9月27日に28日間の会期を終えました。

この定例市議会では、市立保育所条例の一部改正や市議会政務調査費の交付に関する条例の改正案をはじめ、公営企業（水道・病院事業）の会計決算など、合計23の案件を審議しました。

また、9月21日に追加上程された一般・特別会計の決算認定案件（7議案）は、継続審査のうえ、慎重に審査を加えることとしました。

第4回市議会（定例会）日程	第1日（8月31日）
	○会期の決定
	○教育委員会委員の選任〔1件〕⇒表決
	○市功労者表彰〔1件〕⇒表決
	○平成18年度水道事業会計決算認定など〔11議案〕⇒市長提案説明 〈議案熟読〉
	第2日（9月5日）
	○平成18年度水道事業会計決算認定など〔11議案〕⇒質疑・委員会付託
	○請願〔1件〕⇒委員会付託
	○一般質問
	第3日（9月6日）
	○一般質問
	第4日（9月7日）
	○一般質問
	〈常任委員会審査〉 〈決算特別委員会審査〉
	第5日（9月21日）
	○平成18年度一般会計予算継続費精算報告⇒報告
	○平成18年度一般・特別会計決算認定〔7議案〕⇒市長提案説明
	第6日（9月27日）
	○平成18年度一般・特別会計決算認定〔7議案〕⇒質疑・付託 〈決算特別委員会審査〉 ・・・継続審査
	○平成18年度水道事業会計決算認定など〔11議案〕⇒各委員長報告・質疑・討論・表決
	○請願〔1件〕⇒表決
	○市議会政務調査費の交付に関する条例の一部改正〔1議案〕⇒表決

市立栄保育所廃園をめぐり活発な論議 早期に保育所整備計画策定求め「付帯決議」

9月定例会では、「市立保育所条例の一部改正案」を審議しました。

これは、本市の保育行政に大きな役割を果たしてきた市立栄保育所（栄町地内）を、平成22年3月末に廃止しようとするものです。

栄保育所の廃園は、今後の子育て支援施策に大きく影響するだけに、廃園する基本的な考え方や保護者の理解を得る取り組み等について論議が交わされ、賛成多数で可決した後、保育所整備計画を早期に明らかにするよう、付帯決議が付されました。

また、この定例会では、「高規格救急自動車の買入れ」案件についても審議しています。

本案は、北消防署に配備している高規格救急自動車の更新時期が到来したため、自動体外式除細動器（AED）等の高度救命処置用資機材を装備した高規格救急自動車を買入れようとするもので、今後とも、市民の

生命を守る救急隊員の活躍に、大きく期待するところです。

これらのほか、最終日には「市議会政務調査費の交付に関する条例の一部改正案」が追加提案され、全会一致で可決しました。

これは、議員の政策、調査能力の向上等に役立つ政務調査費に関して、より透明性を高めるため、収支報告書に領収書等の添付を義務付けるものであり、平成20年度執行分から実施いたします。

9月定例会

市議会の新しい体制決まる

10月25日・26日に開催した第5回臨時会で役員改選を行い、下記のとおり、市議会の新しい体制が決まりましたので、お知らせいたします。

議長	土田 忠					副議長	岩田 秀雄					監査委員		吉 富 幸 夫		
議会運営委員会	◎志水隆司 越田謙治郎	○宮路尊士 北上哲仁	住田由之輔 江見輝男	西山博大 小山敏明	松田恭男							◎宮路尊士 土田 忠	○上馬 勇 多久和桂子	住田由之輔	吉富幸夫	志水隆司
常任委員会	総務	◎江見輝男 平岡 譲	○松田恭男 久保義孝	大塚寿夫	吉富幸夫	越田謙治郎	特別委員会	飛行場対策 周辺整備調査	◎宮路尊士 土田 忠	○上馬 勇 多久和桂子	住田由之輔	吉富幸夫	志水隆司			
	文教公企	◎上馬 勇 岩田秀雄	○小山敏明 梶田忠勝	土谷一郎	小西佑佳子	吉田 進		まちづくり 調 査	◎吉田 進 津田加代子	○大矢根秀明 中礼思無哉	土谷一郎 安田末廣	越田謙治郎	北上哲仁			
	厚生経済	◎北上哲仁 安田忠司	○津田加代子 大矢根秀明	黒田美智 中礼思無哉	西山博大	宮路尊士		広域ごみ 処理施設調査	◎安田忠司 江見輝男	○大塚寿夫 久保義孝	宮坂満貴子 梶田忠勝	前田 貢	松田恭男			
	建設	◎前田 貢 志水隆司	○多久和桂子 土田 忠	住田由之輔 安田末廣	宮坂満貴子	倉谷八千子		第二名神高速道路 周辺対策	◎倉谷八千子 岩田秀雄	○平岡 譲 小山敏明	黒田美智 小西佑佳子	松田恭男 越田謙治郎	平岡 譲			
農業委員会委員		西山博大	久保義孝					猪名川上流広域ごみ処理 施設組合議会議員	黒田美智 岩田秀雄	小西佑佳子 津田加代子	松田恭男 中礼思無哉	越田謙治郎 梶田忠勝				

◎は委員長、○は副委員長

市民文化

JAMHOP CARNIVAL 2007 イベントの評価問う

議員 本年8月に、ヒップホップダンスコンテスト「JAMHOP CARNIVAL 2007」が開催されているが、宣伝活動に不十分な点が見受けられた。



そこで、このイベントに対する総括をどう考えるか。

まちづくり部長 このイベントは、かわにし能勢口にぎわいプロジェクトが主催し、63チームの参加と二日間で述べ1500人の入場者があった。しかし、市民への情報発信が7月となったため、今後、情報発信や市民参加の方法を整理し、継続性のある事業として定着させていきたい。

教育

小・中学生の生活環境 学校現場での指導方針示せ

議員 今年8月、バイクの窃盗容疑により中学生2名が逮捕されるなど、夏休み中に、子どもに関わる多くの事件があったが、学校現場における小・中学生に対する生活環境指導の取り組み方針を伺いたい。

教育振興部長 小・中学校では、夏休み前に、安全で有意義な生活につ

いて指導するとともに、個人懇談会で全保護者に対し理解と協力を得るよう努めるほか、子どもの状態によって、夏休みに家庭訪問を実施するなど、きめ細かな指導を行っている。

しかし、子どもの不道德な行為に学校が対応できなかった事例もあり、校長会等で指導していきたい。

教育

新たな主幹教諭制度 今後の取り組み方針聞く

議員 本年度より、小・中学校等に主幹教諭を配置されているが、年齢制限や希望者を募るなど、選考方法に問題があるように思われる。

そこで、主幹制度を機能させるための取り組み方針を伺いたい。

教育振興部長 主幹教諭は、新たな二一ズや課題に的確に対応し、学校

運営・教育活動の中核的な役割を担う新たな職として設置されたものであり、20年度では、年齢条件を緩和するなどの選考要綱となっている。

教育長 市教育委員会では、研修会で意識の向上を図るなど、今後とも、主幹制度が真の意味で信頼に値するものとなるよう進めていきたい。

福祉

「認定こども園」 市の検討状況問う

議員 少子化の進行や保育ニーズの多様化等に対応するため、保育所・幼稚園の枠組みを越えた取り組みとして、「認定こども園」制度が平成18年10月にスタートしている。

本年8月1日現在、県内では、全国最多の12件が認定されているが、本市における検討状況を伺いたい。

健康福祉部長 県が実施された認定こども園への意向調査によると、施設や職員配置等の課題もあり、市内の民間幼稚園等で検討している施設はないとの結果を受けており、市では、子どもの健全育成を最優先にしながら、保護者のニーズ等を慎重に見極める必要があると考えている。

病院

安心できる産科医療体制の整備へ 市立川西病院の取り組み方針は

議員 救急搬送中の妊婦が9病院に受け入れを拒否され死産となった事故等を教訓に、本市でも、安心できる医療体制の整備が必要である。

市立川西病院では、本年6月に産科医師を4名確保することができたと聞いているが、本市の産科医療に対する取り組み方針を伺いたい。

川西病院事務長 市立川西病院では、産科医師不在により、出産の受け入れを中止した時期もあったが、本年6月から、受け入れ体制が整ったところである。

今後は、新たに助産師外来を実施する予定であり、産科医療の充実に向けて努力していく考えである。

本会議・委員会開催状況

8月

- 23日 ○議会運営委員会
○議員協議会（教育委員会委員の選任について）
- 31日 ○第4回市議会定例会（招集日）
○議会運営委員会
○広域ごみ処理施設調査特別委員会（平成18年度猪名川上流広域ごみ処理施設組合予算の継続費繰越についてなど）

9月

- 5日 ○第4回市議会定例会（第2日）
- 6日 ○第4回市議会定例会（第3日）
- 7日 ○第4回市議会定例会（第4日）
- 10日 ○総務常任委員会
- 11日 ○文教公企常任委員会
- 12日 ○厚生経済常任委員会

○厚生経済常任委員協議会（（仮称）阪神北広域小児急病センター整備事業の進捗状況について）

- 13日 ○建設常任委員会
- 14日 ○公営企業会計決算審査特別委員会
- 19日 ○議会運営委員会
- 21日 ○第4回市議会定例会（第5日）
○議会運営委員会
- 27日 ○第4回市議会定例会（最終日）
○一般会計決算審査特別委員会
○特別会計決算審査特別委員会
○議員協議会（教育委員会委員長退任あいさつについて）
○厚生経済常任委員協議会（ごみ処理基本計画の一部変更（案）について）

10月

- 3日 ○一般会計決算審査特別委員会
- 4日 ○一般会計決算審査特別委員会
- 5日 ○一般会計決算審査特別委員会
- 9日 ○特別会計決算審査特別委員会
- 11日 ○まちづくり調査特別委員会（中央北地区土壤汚染対策工事について）
- 18日 ○議会運営委員会
○広域ごみ処理施設調査特別委員会（ごみ処理基本計画の見直しについてなど）
- 23日 ○議員協議会（ごみ収集体制の見直し（案）についてなど）
- 24日 ○広報委員会
- 25日 ○第5回市議会臨時会（招集日）
○議会運営委員会
○議員協議会（監査委員の選挙）
- 26日 ○第5回市議会臨時会（最終日）
○議会運営委員会

一般質問

要旨

生活安全

犯罪・火災に不安“放置空き家” 解体費用を支出する考えないか

議員 市内には、適正に管理されない空き家が多数あり、犯罪や火災等の不安の声が寄せられているが、具体的な解決策が見出せず、放置されている状態となっている。

そこで、土地・家屋の無償提供や地域での土地管理等の条件を満たす

と、行政が空き家解体費用を支出できる制度を構築する考えはないか。

まちづくり部長 市民の固有財産への行政の介入は困難であり、今後とも、所有者に適正な管理を指導するとともに、市民の不安を取り除くため、種々の検討を加えていきたい。

教育

通学区域の弾力化 適正な学校規模の考え方は

議員 平成16年4月に、市立学校校区審議会より、通学区域制度の弾力化に関する答申が出されている。

そこで、小・中学校の適正な学校規模に関する考え方を伺いたい。

教育振興部長 適正な学校規模は、学校教育法等に規定する12～18学級

を基本として、過去の経緯や地域の実情等を踏まえ判断していきたい。

本市では、市立学校校区審議会の答申を受け、校区外就学希望制度を導入しており、今後、運用状況を把握する中で、必要に応じ適正な学校規模を審議いただく考えである。

福祉

“保育料”滞納解消への取り組みただす 強まる保護者の不公平感

議員 認可保育所における昨年度の保育料滞納額は、全国で約84億円に上ることが国の調査で明らかとなり、保護者の不公平感はますます強まっている。

そこで、滞納解消へ向けた市の取り組み方針を伺いたい。

健康福祉部長 本市においても、保育料の滞納が年々増加傾向にあることから、本年7月より嘱託徴収員を1名配置し、収納強化に努めている。

今後は、保護者の負担能力に応じた、柔軟できめ細やかな納付体制の整備を検討していきたい。

福祉

障害者への支援策 拡充する考えないか

議員 障害者自立支援法の施行は、サービス利用料の原則1割負担などの問題を有し、現在に至っている。

そこで、市独自の福祉金制度の復活など、障害者に対する支援策拡充に向けた市の考えを伺いたい。

健康福祉部長 利用者負担の軽減等

は是正措置を講じられたが、市独自福祉金制度等の支援制度拡充は、多額の費用を要し、困難な状況である。

次期障害者福祉計画の策定では、多くの意見等を踏まえ、障害のある方が安心して暮らせるまちづくり計画となるよう努力していきたい。

消防

「住宅用火災報知器」 設置義務をPRせよ

議員 国では、住宅火災による死者を低減するため、寝室等に火災報知器の設置を義務づける法律が制定されている。

これを受け、本市でも条例を改正し、平成23年6月1日から既存住宅への報知器設置を義務づけているが、今後のPR策について伺いたい。

消防長 本市では、条例の改正以降、広報紙をはじめ、「かわにし 119新聞」や消防ホームページへの掲載など、火災報知器の設置に関する様々なPR活動に努めている。

今後も、これらの活動を継続する

ほか、自主防災組織などに対して直接PRする予定である。



第5回臨時市議会

第5回臨時市議会が、10月25日・26日の2日間の会期で開かれ、閉会中に特別委員会が審査していた平成18年度一般会計・特別会計決算について審議し、いずれも決算書のとおり認定しています。

また、市議会の役員改選も行いましたが、正副議長をはじめ、各委員会等の新たな構成については、1面下段の表をご参照ください。

一般質問は、本会議第2日目から第4日目までの3日間にわたり行われ、20人の議員が、52項目について質問しました。
これらの質問のうち、20項目について、質問と答弁の要旨を掲載しました。
なお、要旨を掲載していない質問項目は、下段の「一般質問項目（掲載分を除く）」をご参照ください。
また、詳しくは、会議録・会議録検索システム（11月下旬に発行・更新予定）でご覧いただけます。

“元気で活気ある川西の創造” 具体的な取り組み内容聞く

議員 市長は、「川西改革プラン2006」を基本に、“元気で活気ある川西の創造”に向けて事業展開されているが、効果が見えないことから、具体的な取り組み内容を伺いたい。
市長 市長に就任以来、財政の健全化を最大の課題として、閉塞感の打破と元気の回復、また市民感覚を前

提としたフレッシュな市政の展開を心がけてきたものである。

具体的には、高齢者おでかけ促進事業の実施や乳幼児医療扶助制度を拡充したほか、四つのプロジェクトチームを設置して行政経営改革に取り組むなど、改革プランに掲げた事業を着実に実行していきたい。

歩きたばこ・たばこのポイ捨て 条例で規制する考えないか

議員 過去の一般質問や子ども議会で繰り返し論議された、「歩きたばこ」や「たばこのポイ捨て」につい



て、これらの防止に向けた啓発活動の取り組みや、条例により規制する考えを伺いたい。

市民生活部長 本市では、現在、アステ川西周辺の歩行者デッキにおける路上喫煙防止看板や、環境衛生推進協議会等を通じて、市内随所にポイ捨て防止看板を設置するなど、啓発活動を展開している。

今後は、市民の環境への意識高揚を図る「（仮称）かわにし全市全域クリーン宣言」等を推進することが最も適していると考えている。

環境に配慮した景観計画を策定せよ 苦情多い屋外広告照明

議員 市内にある娯楽商業施設の屋外広告照明が、周辺の景観などに悪影響を及ぼしているとして、周辺住民から苦情の声が寄せられている。
このため、景観法に基づく景観計画を策定する考えはないか。

的場副市長 娯楽商業施設の照明の

件は、市としても十分認識しており、担当職員が現地へ出向き、業者に協力要請しているところである。

今後とも、景観法に基づくまちづくりに関して、県の指導等を仰ぐとともに、先進地の事例等も研究しながら、引き続き勉強していきたい。

中央北地区整備事業 今後のスケジュールは

議員 中央北地区の整備事業は、当初計画が休止状態となっており、その総括を新たな土地利用基本構想に活かす取り組みが求められるが、今後の事業スケジュールを伺いたい。
理事 この事業では、土壤汚染対策工事完了のめどが立ち次第、土地利

用基本構想を公表する考えであり、その後、区画整理事業を手法とする事業認可等で事業進捗を図りたい。

その間、土壤汚染がない土地は、さらなる暫定土地利用により地区のイメージを一新し、民間事業者誘致の足がかりにしたいと考えている。

耐震化の方針示せ 避難場所にもなる学校施設

議員 学校施設は、児童・生徒の生活の場であり、災害時には避難場所にもなることから、安全で安心できる環境整備が急務である。

そこで、今年度に予算措置されている耐震診断の進め方や耐震工事への取り組み方針について伺いたい。

教育振興部長 市教育委員会としては、すべての学校建物の耐震診断を21年度までに完了した上で、市の市有建築物耐震化検討会で作成された耐震化基本方針に基づき、総合計画等と整合を図りながら、学校施設の耐震化を進めていきたい。

環境衛生

新ごみ処理施設稼働後の ごみ分別区分の周知策は

議員 平成21年4月の新ごみ処理施設稼働後は、施設の搬入基準に合わせ、本市のごみ分別区分を変更する必要があると考えるが、市民への新分別区分の周知策を伺いたい。

美化推進部長 ごみの新分別区分は、平成20年4月頃から、広報紙やイン

ターネットをはじめ、パンフレットの全戸配布や地元説明会の開催など、あらゆる機会を通してPRしていきたいと考えている。

特に、周知徹底を図るには、地域出前講座が有効であり、自治会等へ積極的利用を呼びかけていきたい。

企画財政

団塊世代の退職 市税収入への影響は

議員 団塊の世代の退職者増により市税収入が減少することは、今後の予算編成に大きく影響を及ぼす。

このため、市税収入の今後の見通しや財源確保策について伺いたい。

企画財政部長 市税収入は、団塊の世代の退職に伴う個人市民税の減等

が影響し、今後、大きく伸びる要素がなく、将来的に厳しい状況にある。

そこで、本市では、財源を確保するため、事業の見直しやコストの圧縮を第一義としながら、未利用地の有効活用や使用料の見直しを視野に入れて検討を進めている。

企画財政

市の財政力の現状問う 財政破綻回避のため情報開示を

議員 自治体の財政破綻を回避するためには、行財政運営に関する市民の関心と監視が最良の方策であり、積極的な情報開示が求められる。

そこで、本市の財政力の現状と対応方針について伺いたい。

市長 18年度決算では、財政構造の弾力性を表す「経常収支比率」等が

好転したものの、類似団体より高いことから、短期的には、事務事業の見直しや受益者負担の適正化等を実行することにより、基金の繰入に依存しない財政収支の均衡に取り組むとともに、長期的には、投資的な事業を取捨選択しながら、地方債発行額の抑制に取り組む考えである。

介護

特定高齢者の介護予防 積極的な利用を図れ

議員 平成18年度における特定高齢者（要支援・要介護の恐れのある人）の介護予防利用は1件であり、積極的な活用が図られていない。

そこで、介護予防事業に対する今後の改善見通しについて伺いたい。

健康福祉部長 特定高齢者施策については、19年度、国の基準が見直さ

れたことから、対象者数が増加しており、このうちの参加希望者7名を対象に、12回をコースとして運動器などの機能向上を図る「川西はつつ広場」を9月より実施している。

今後とも、介護予防に向けた有効な施策を見極めながら、事業を推進していきたいと考えている。

土木

猪名川（多田大橋～銀橋） 今後の改修見通し示せ

議員 多田大橋～銀橋区間の猪名川河川改修については、これまで二度の地元説明会が開かれているものの、工事進捗が不透明であることから、

今後の改修見通しを伺いたい。

土木部長 この区間の河川改修は県が実施しており、このうち多田大橋～御社橋区間は、平成19年度に右岸



の用地取得を行うとともに、20年度から左岸の用地取得に着手し、その後、県道の付け替え、護岸・堤防の整備を実施する計画とされている。

また、御社橋～銀橋までの未改修区間は、策定される淀川水系猪名川圏域河川整備計画を踏まえ、改修計画を立てる予定となっている。

※受理した陳情※

- 要望書（市道49号線整備拡幅促進の件）
- 要望書（阪神福祉事業団「ななくさ育成園」建替えの際に川西市へ分散建設を誘致すること等）
- 精神障害者の福祉施策充実に関する要望書
- 要望書（障害者福祉に関する要望）
- ごみ収集・処理システムについての要望書
- 「市立保育所の民営化」政策に関する陳情
- 障害者福祉に関する要望書

一般質問項目（掲載分を除く）

- 平成20年度予算の骨格方針について
- 財源確保（来年度の地方交付税の見直し）について
- 各公社（市土地開発公社・市都市整備公社）の運営について
- 後期基本計画の実施体制について
- 放置された空き家に対する法定外税の導入について
- 市立川西病院への無料巡回バスについて
- 指定管理者制度導入から今日までの経過と今後の方向性について
- 市民とのコミュニケーションの手法について
- 本庁舎の清掃業務委託について
- 公の職場における障害者の働き場所確保のさらなる検討について
- 後期高齢者医療制度の実施に向けての市の考え方について

- 介護保険制度における改善点（介護難民への対応、介護とりあげへの対処、地域包括支援センターの拡充）について
- 川西市のかかげる「子育て支援」について
- 川西市における保育所保育料の滞納状況について
- 幼稚園、保育所の支援について
- 地域医療体制について
- ごみ行政について
- ごみステーションのあり方と今後の取り組み方針について
- 川西のまちの活性化（今後のイベント）について
- 高齢者・障害者が日常使用する施設についてのバリアフリーについて
- 塩川の河川改修について

- 街路樹等の伐採及び剪定時期について
- 中央北地区再開発事業の今後の進め方について
- 都市計画道路の整備方針と年次計画について
- 公共施設における防災訓練について
- 地域防災について
- 学校教育法の改正内容について
- 「川西市立小学校・中学校及び特別支援学校の管理運営に関する規則」について
- 教育再生について
- 体験型環境学習について
- 川西市の学校建物耐震化の遅れの原因と予算の優先的確保について
- 『市立川西病院のあり方に関する提言』の進捗状況について

一般質問発言議員

（発言順）

住田由之輔	吉田進
安田末廣	小山敏明
北上哲仁	上馬勇
前田貢	平岡謙
越田謙治郎	黒田美智
倉谷八千子	梶田忠勝
大矢根秀明	津田加代子
土谷一郎	岩田秀雄
吉富幸夫	大塚寿夫
小西佑佳子	安田忠司

常任委員会報告

今期定例会の常任委員会で審査された議案は、総務委員会3件、文教公企委員会1件、厚生経済委員会3件、建設委員会1件、総務・文教公企の二つの委員会に分割付託された補正予算案1件の計9件です。

ここでは、各委員会の審査における質疑などの一部について、その要旨を掲載しています。

旧慣による公有財産の使用廃止を可決 高規格救急自動車の買入れも 総務常任委員会

■旧慣による公有財産の使用廃止について

本案は、旧来の慣行により地元関係者に使用権のある久代1丁目地内のため池（9.91平方メートルの公有財産）について、その用に供しないため、地元関係者の同意を得て、旧慣使用を廃止するものである。

問 今回、旧慣使用を廃止しようとするため池の今後の利用方針を伺いたい。

答 このため池は、民有地の一角に位置しており、旧慣使用の



廃止後は、隣接する民有地の所有者に売却する方向で協議が調っている。

■高規格救急自動車の買入れについて

本案は、北消防署に配備する高規格救急自動車を更新時期を迎えたため、自動体外式除細動器（AED）等の高度救命処置用資機材を装備した高規格救急自動車に買い換えようとするものである。

問 更新しようとする車両にも高度救命用資機材が搭載されており、厳しい財政状況の今、多額の経費を投じて買い換える必然性を伺いたい。

答 更新する車両は、平成12年に配備され、これまで約1万件の救急活動に出動し、走行距離も21万キロメートルを超過している。

他市では、更新の目安として、走行距離を10万キロメートル程度とされている状況もあり、搭載する患者監視装置等の耐久性も考慮した上で更新しようとするものである。

地区計画区域内 建築物の制限に関する条例改正を可決 建設常任委員会

■川西市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、平成19年10月から郵政民

営化法が施行されることに伴い、地区計画区域内で制限する建築物における「郵便局」に関する規定の整備を図ろうとするものである。

政務調査費交付条例一部改正

川西市議会政務調査費収支報告書に「領収書」添付を義務付け

政務調査費は、市長が提案する予算や条例、政策などに関する議案に対して、より住民の意見を反映した上で、地域の実情に合わせた適切な修正等を図ることや、議員に与えられた政策立案の権利を行使するため、政策・調査能力を高める目的で交付されており、公正で厳格な活用が求められています。

当市議会では、現在、各会派が責任を持って会計帳簿等の証拠書類を保管する旨を規則で定めていますが、さらに透明性を高め、議員として公金の使途を明確にするために、20年度から、収支報告書に領収書等の添付を義務付けるよう、条例を改正しました。

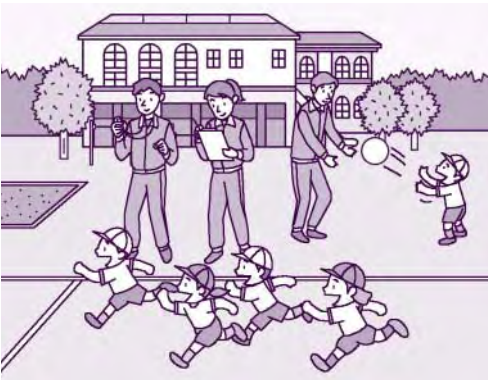
一般会計（教育費）補正予算を審議 幼児教育研究事業経費の追加 文教公企常任委員会

■平成19年度川西市一般会計補正予算（第1回）〈分割付託〉

問 今回の補正では、国の委託を受け、調査研究に要する報償費等の経費として、幼児教育研究事業に300万円を追加されようとしているが、この事業の内容を伺いたい。

答 この調査研究の目的は、幼児期において、正しい生活習慣や運動・スポーツ習慣を身につけ、体力を培うことが必要なため、研究機関と連携しながら、子どもの走る・跳ぶ・投げるなどの基本動作や危機回避能力を身につけるプログラムの実施や、正しい生活習慣を習得するための基本的な取り組みなどの実践研究等を行うことである。

本市では、遊びや体験活動を通じ



て元気な川西っ子を増やすことをサブテーマとして、幼稚園児の体力測定や生活実態調査、骨密度や土踏まずの測定などで体力と運動能力を把握するとともに、適切な活動量を明確にすることで、体力向上のプログラムを開発することを目標に実施しようとするものである。

市立保育所条例の一部改正で論議 “栄保育所”平成22年3月末で廃園 厚生経済常任委員会

■川西市立保育所条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、新設民間認可保育所の開設に合わせ、平成20年3月末日で廃止する計画としていた市立栄保育所に関して、廃止時期を計画発表以前に入所した児童が卒園する平成22年3月末日まで延長し、同日限りで廃止しようとするものである。

問 今回、栄保育所を廃園することとした基本的な考え方を伺いたい。

答 本市の公立保育所には、建築後相当年数が経過し、耐用年数が大幅に超過した木造施設が2園あるが、このうち栄保育所は、簡易な修繕程度で今日に至っている。

また、栄保育所は、建物が狭く、低年齢児保育など、保護者の新たな保育ニーズに応えるには限界があるほか、老朽化した木造施設のため耐震改修が合理的でないといったことから、栄保育所から500メートルの位置にある旧桜が丘幼稚園の跡地を活用し、民間認可保育所を整備することにより、長時間延長保育や休日保育等の新たな保育サービスの充実を図ろうとするものである。

問 栄保育所を廃園するまでの間、20年度では1歳児を、21年度では1・2歳児を受け入れない方針としているが、待機児童を解消するため、新たな1・2歳児を受け入れる考えはないか。

答 廃園予定の22年3月末に栄保育所に在籍する児童については、

他の保育所への転所が必要となるため、保育環境の変化が、特に低年齢児に与える影響が大きいことや、転所先の確保の問題などから、段階的な縮小を図っていきたい。

◇ ◇ ◇

反対意見 待機児童が減少しない中で、栄保育所の廃園は計画性がなく、保護者が入所申し込み時に申請された保育期間に関する入所決定承諾といった「契約」が守られない事態となるなど、本案には賛成できない。

賛成意見 保育所施設の立て替えが困難であり、民間活力で多様な保育ニーズに応じることは、理解できる。

今後、保育行政に関する基本的な方針を早急に整備されるよう要望し、本案に賛成する。

付帯決議《要旨》

市民の就業構造の変化や女性の社会進出が進む中で、本市では、潜在的保育需要に依然として対応できていないことや、地域バランスに配慮した施設配置、並びに多様な保育メニューへの取り組みが求められていることを総合的に考慮すると、誰もが安心して子育てができる保育環境の将来像を遅滞なく、明確に示すことが重要である。

よって当委員会は、公立保育所はもとより、民間認可保育所の取り扱いも含めた、本市での保育所のあり方に関する基本的な考え方、並びに将来を見据えた保育所整備計画を早期に明らかにするよう要望する。

審議案件

■全員賛成■

〈条例の一部改正〉

- 川西市長の資産等の公開に関する条例（総務）
- 川西市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例（建設）
- 川西市議会政務調査費の交付に関する条例

〈補正予算〉

- 平成19年度川西市一般会計第1回補正（総務・文教公企）
- 平成19年度川西市老人保健事業特別会計第1回補正（厚生経済）
- 平成19年度川西市介護保険事業特別会計第1回補正(同)
- 平成19年度川西市水道事業会計第1回補正（文教公企）

〈決算〉

- 平成18年度川西市水道事業会計決算認定（公企会計決算特別委）

〈その他〉

- 教育委員会委員の選任
- 市功労者表彰
- 旧慣による公有財産の使用廃止（総務）
- 高規格救急自動車の買入れ（同）

■賛成多数■

〈条例の一部改正〉

- 川西市立保育所条例（厚生経済）

〈決算〉

- 平成18年度川西市病院事業会計決算認定（公企会計決算特別委）

■継続審査■

〈決算〉

- 平成18年度川西市一般会計決算認定（一般会計決算特別委）
- 平成18年度川西市国民健康保険事業

特別会計決算認定（特別会計決算特別委）

- 平成18年度川西市老人保健事業特別会計決算認定（同）
- 平成18年度川西市農業共済事業特別会計決算認定（同）
- 平成18年度川西市下水道事業特別会計決算認定（同）
- 平成18年度川西市介護保険事業特別会計決算認定（同）
- 平成18年度川西市用地先行取得事業特別会計決算認定（同）

【請願】

■不採択■

- 川西市立栄保育所の廃止を急いで決めないことを求める請願（厚生経済）

【市長からの報告】

- 平成18年度川西市一般会計予算継続費精算報告

【注】（ ）は付託された委員会です。

傍聴にお越しください

川西市議会では、本会議はもとより、議会運営委員会、常任・特別委員会など、すべての会議を公開していますので、ぜひ傍聴にお越しください。

また、これらの会議録は、市議会事務局や中央図書館などのほか、下記の市議会ホームページでもご覧いただけますので、ご利用ください。

次の定例会は、11月29日から開かれる予定です。

会議の開催日程などは、市議会事務局（TEL：740-1255）にお問い合わせいただくか、市議会ホームページ（<http://www.city.kawanishi.hyogo.jp/gikai/>）をご覧ください。

市議会新広報委員

10月の議会役員の選出に伴い、市議会広報委員会のメンバーが新たに決まりました。

今後とも、よろしくお願いいたします。

委員長 黒田 美智
副委員長 津田加代子
委員 宮坂満貴子
上馬 勇
前田 貢
北上 哲仁
江見 輝男
平岡 譲
中礼思哉哉
安田 末廣